

本を通して人を知る、
人を通して本を知る。



7月3日(日)のバトルには観戦参加の方が2名にバトルラーが4名の、熱戦のビブリオバトルとなりました。
トップバッターは、こんな時ばかりジャンケンが強い私、竹原。

竹原 今日紹介するのは『死神の精度』という小説です。主人公の死神と、もうすぐ死ぬ予定になっている人間たちのお話。恋愛小説のようだったり、ミステリー風だったり、話によって作風が変わるのが面白いんですよ！映像化もされているので、興味がある方はそちらもぜひ。

続いて丸山館長。今回もタイトルからして意味深な本を用意してきた様子。

丸山 『やりがいのある仕事』という幻想』は、現在1日1時間労働で生活している森博嗣さんの仕事論です。森さんの考え方が面白くて例えば、仕事がつらいという人には「辞め



7月3日(日)開催

チャンプ本
『「やりがいのある仕事」
という幻想』

森博嗣/発案 朝日新聞出版

ればいい」とぼつさり。何のために仕事をするのか。仕事が人間の価値を決めるのか。改めて働くということについて考えさせられる内容になっています。

ラストは初参加の西脇さん。東和図書館で面白そうな本を見つけたとのこと。

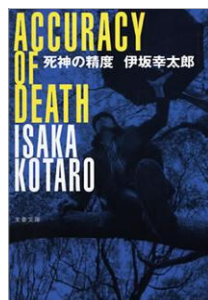
3番目のK島さんは、ご友人にお勧めされた本を紹介。

西脇 声優で作家でもある、あさのますみさんの『ヒヨコノアルキカタ』は、日常生活の中のいろいろな「はじめて」を集めたエッセイです。おもしろが体の一部ではなく、別の生き物だと思っていた子供時代の話など：面白くてかわいい内容に癒されます。

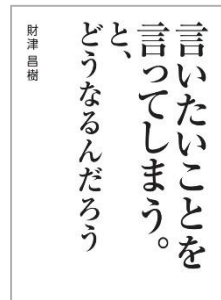
K島 この『言いたいことを言ってしまう。と、どうなるんだろう』では、社会問題や環境問題が重くならない表現で書かれています。だから、気負わず世の中の事を考えられる。こんなご時世だからこそ、たくさんの人に読んでもらいたい作品です。

今回のチャンプは『やりがいのある仕事』という幻想』でした。
皆さんお気軽にご参加ください。
お待ちしております！

知的書評合戦 ビブリオバトル



『死神の精度』
伊坂幸太郎/著 文藝春秋



『言いたいことを言ってしまう。と、どうなるんだろう』
財津昌樹/著 花伝社



『ヒヨコノアルキカタ』
あさのますみ/著 KADOKAWA/メディアファクトリー

他にもこんな本が紹介されました。

8月のビブリオバトル開催日程

- ◆やよい図書館 7日、21日 15:00~
- ◆梅田図書館 11日 16:00~
- ◆舎人図書館 13日 14:45~
- ◆竹の塚図書館 17日 13:30~
- ◆鹿浜図書館 27日 14:00~

「やりがいのある仕事」 という幻想



「にゃよい」の「仲間」を 考えよう 人気投票

8月9日~9月29日までの期間、「にゃよいの仲間」を考えよう」の人気投票を行います。
皆さんが考えてくれた仲間の中から、職員が1次選考を行い、選ばれた作品をやよい図書館の階段に掲示しています。1人1票、やよい図書館のカウンターで投票できます。人気投票で1位になった作品は、秋の読書週間から、「にゃよいと一緒に働きはじめます」
投票をお待ちしています！

のぐちえさんによる保護者向け講座「絵本でリラックス！ おうちえほんの楽しみ方」
8月10日(第2水曜日) 11:00~11:30 2階 音楽室
※お子様連れ可(託児なし) 事前申込です。電話またはやよい図書館カウンターでお申込みください。

クイズにこたえて、
図書館でプレゼントをもらおう。

もんだい：海やプールで、空気をいれて使うものは？
① うきわ ② ちくわ ③ うちわ

こたえ： _____